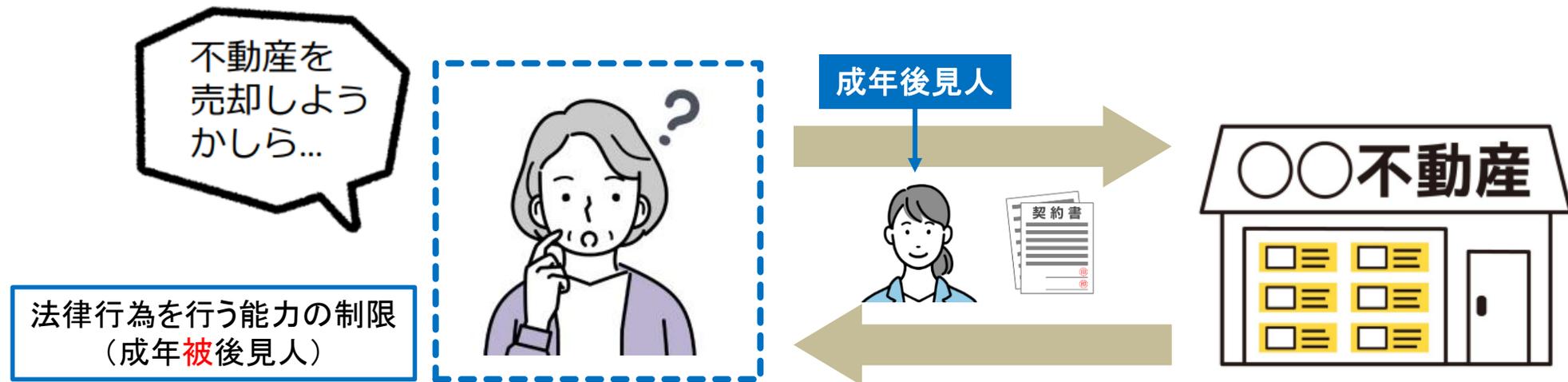

成年後見制度とは？



成年後見制度とは？

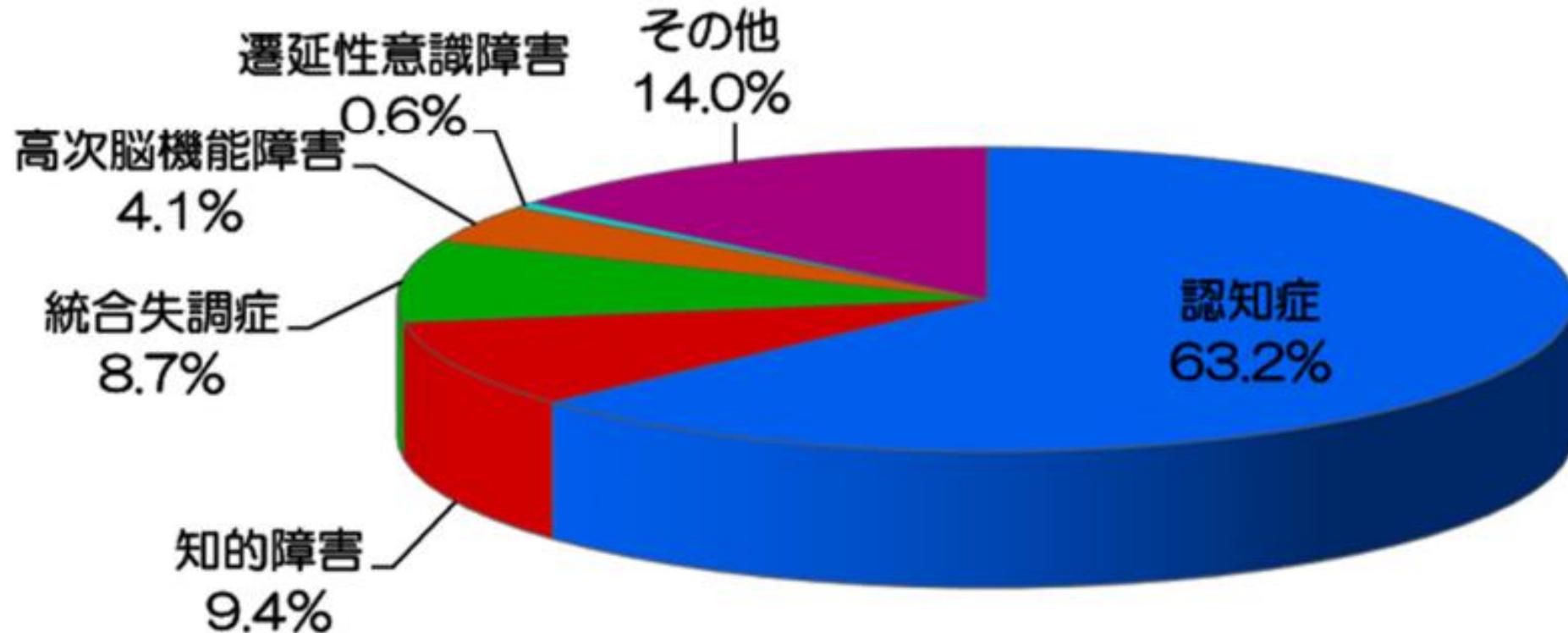
- ❖ 民法上、人はその意思決定により自由に法律行為を行うことができます。
- ❖ しかし、精神上的の障がいによって判断能力が不十分で、法律行為における意思決定が難しい方には、その判断能力を補う支援が必要です



成年後見制度とは？

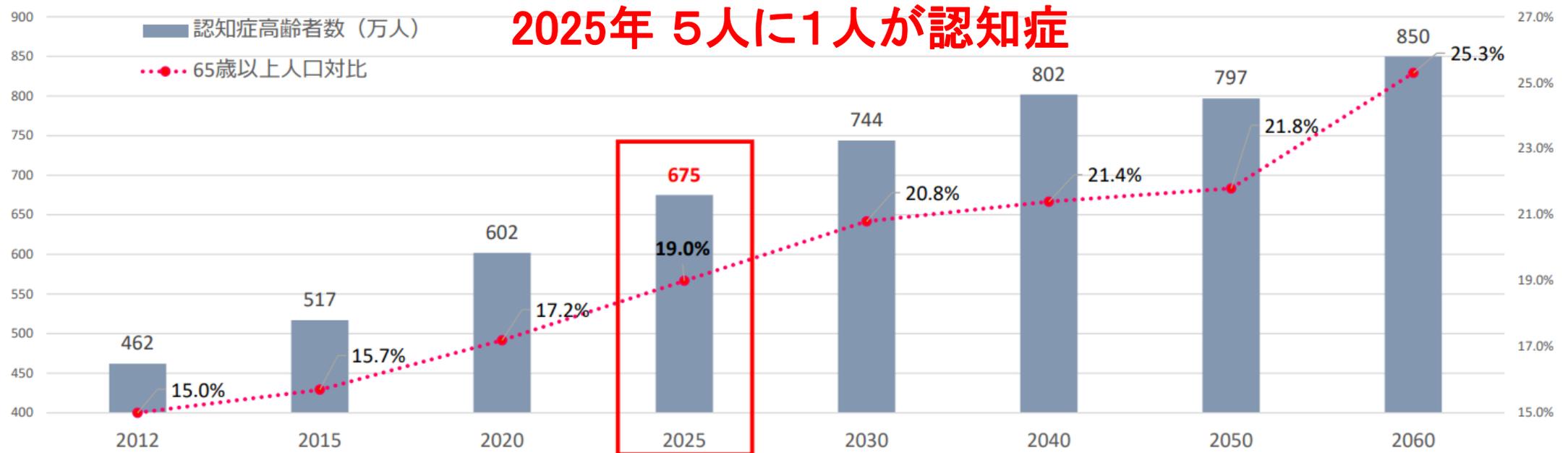
- ① **判断能力が不十分な人**に対して
- ② **成年後見人**などの**法律上の権限**をもつ
支援者をつけて保護したり支援したりする。
- ③ **(民法を根拠とする) 司法**の制度

成年後見制度利用対象者



出所:『成年後見事件の概況－令和4年1月～12月－』最高裁判所事務総局家庭局

認知症高齢者数の推移

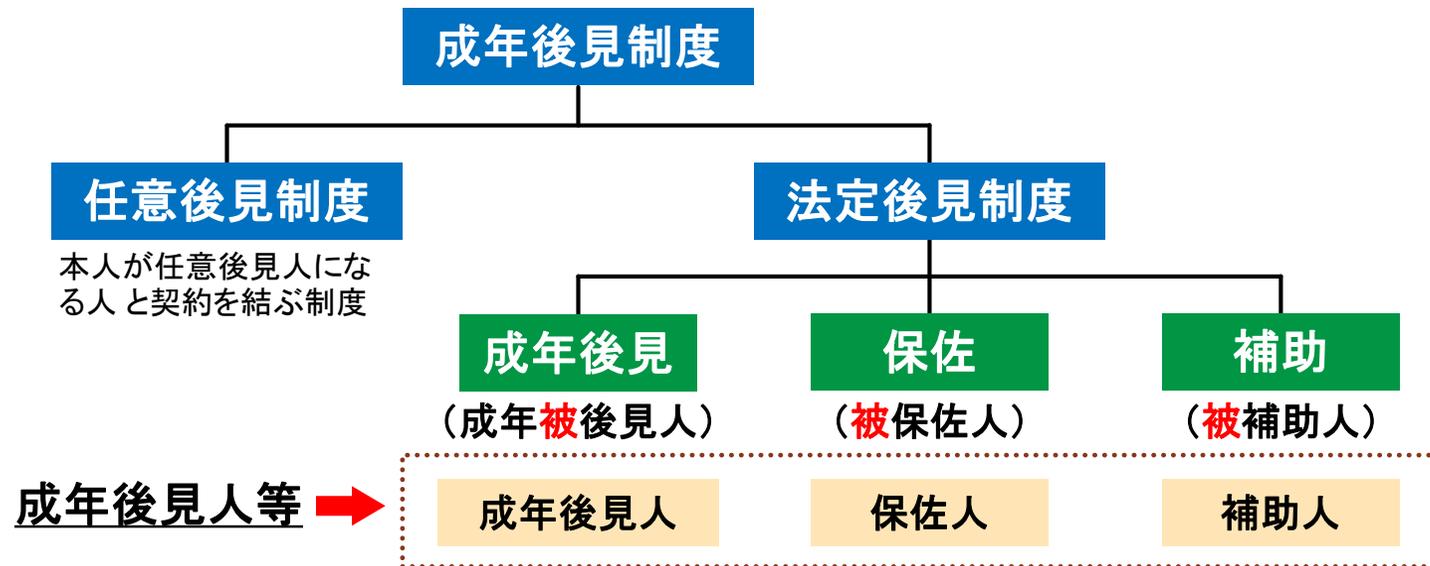


「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)による速報値

近年では、超高齢社会などの影響から、「**成年後見制度**」の利用が年々増加しており、今後も増加が見込まれています。

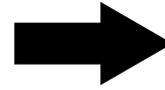
成年後見制度の全体像

- ❖ あらかじめ自分で決めておくのが**任意後見制度**
- ❖ 判断能力が不十分になってから家庭裁判所が決定するのが、**法定後見制度**
家庭裁判所が選任した成年後見人等が本人に変わって財産管理や身上保護に関する法律行為を行います。法定後見には**後見**・**保佐**・**補助**の3つのタイプがあります。



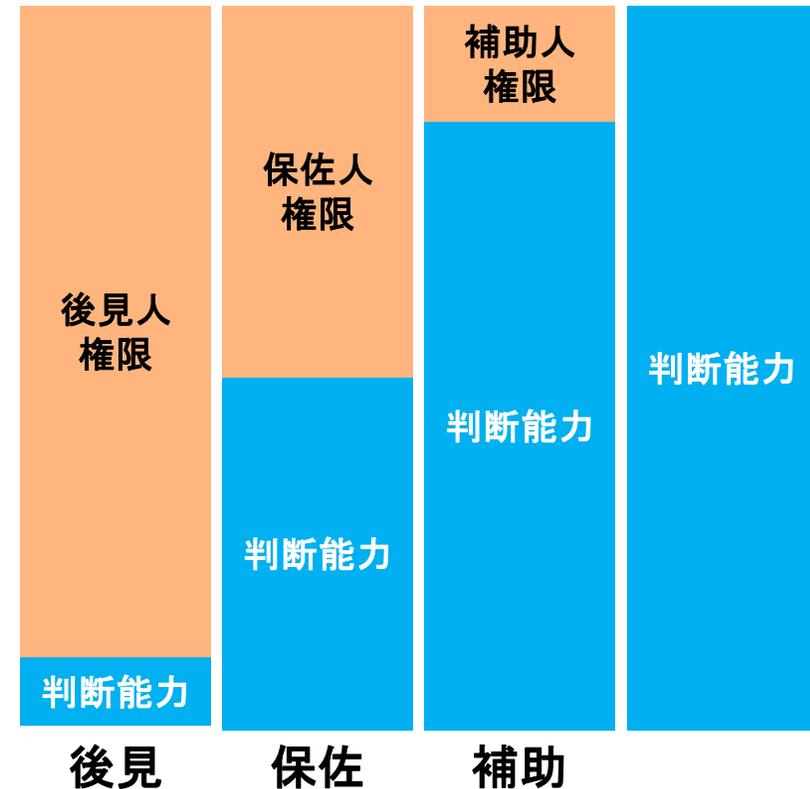
法定後見制度の概要

判断能力に応じて**3つの類型**があり、類型に応じて後見人等の権限が異なります。

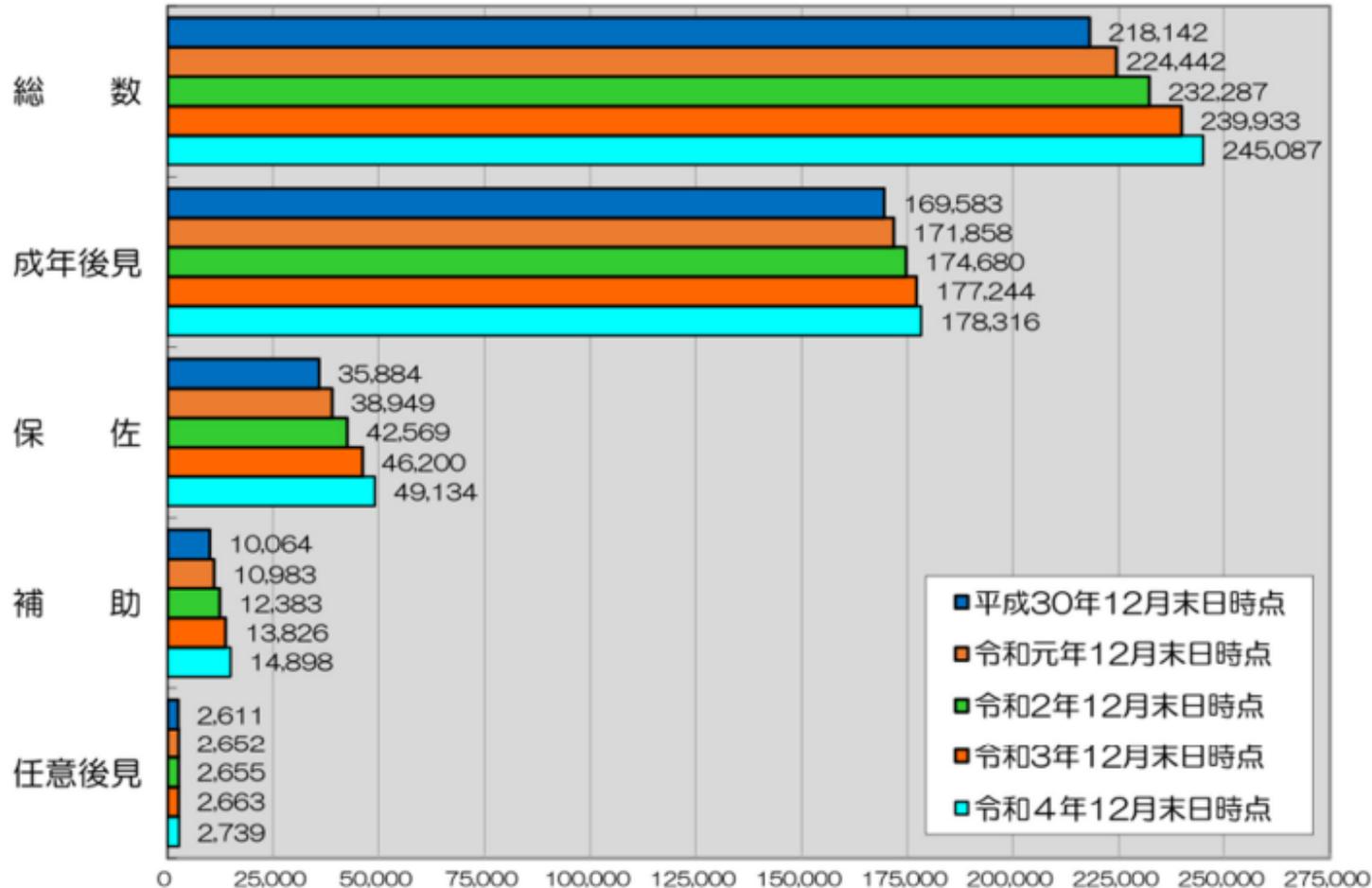


判断能力と一言で言ってもいろいろ

- ❖ 判断能力がすでに不十分な方が対象。
- ❖ 家庭裁判所の手続きを経て、家庭裁判所が後見人等を選任。
- ❖ 本人の望んでいる生活が実現するように配慮しながら、財産の管理や生活の支援に関する法律行為を行います。



後見・保佐・補助の利用者数



出所:『成年後見事件の概況
—令和4年1月～12月—』
最高裁判所事務総局家庭局

成年後見人等の位置づけ

対象者の人は、多くの支援者のサポートを受けながら暮らしています。

成年後見人等は新しい支援仲間になります

支援チームに、

- ①法律上の権限をもっている
 - ②ご本人が亡くなるまで寄り添うことのできる
- そのような支援者が一人加わるのです。



成年後見人って どんなことをしてくれるの？

身上保護



自分らしい暮らしが送れるために

介護契約・施設入所契約・医療契約など、本人の身の上に関わる契約締結等の法律行為を、本人に代わって行います。

本人の生活のために必要な費用を、本人の財産から計画的に支出します。

財産管理



本人のためにお金を使う・管理する

本人の財産に損害を与えないように安全な方法で管理します。

遺産分割等の本人の財産に関する法律行為を行います。

本人の財産に損害を及ぼすような売買契約など、本人が行った法律行為を取り消すことができます。

どちらも大切